

ハラハラ通信

87.1.24
NO.49

発行 大阪 ニジの会

東アジア反日武装戦線への死刑・重刑攻撃を許さない! 支援垂ニュース読者の会

連絡先・由合せ

堺市新金岡町 2-2-1-307

▼「支援垂ニュース紙代」「カンパ」「本代」は振替で大阪ワ・310316(三三の会)までお願いいたします。

早期回頭命令攻撃を

獄中・獄外で共にたたかおうぞ!!

▼ おっ、かなびっくりで東アジア武装戦線に關わりはじめてかれこれ3、4年になる。このかんばくのやってきたこと言えば、それは救援とも呼べるかどうか判らんような支援・応援ーニジの会で頑張ってる人らの周りをウロウロするようなもんやった。そんな中でへ反日への彼らが死を賭してつきつけたものを考えてくと、やっぱりじつとしてられへん、自分の体を動かすことこそそのことに答えていくしかないという気持ちでやってきたように思う。

▼ 2、3年前から、今耳ここ判決か何回も訴えてきては、その都度虹の会として色んなことを陽気にやっってきたけど、ここにきてやっと救援運動の切迫さを全身に感じてきた。といっても自分の今やれることで精一杯体を動かすこと以外にない。▼ 漠然と死刑・重刑攻撃を阻止するといっても、どう動くかが今は見え

抗議先

伊藤 正巳 / 都文京区小日向
1の5の18

安岡 満彦 / 杉並区荻窪
3の30の36

長島 敦 / 世田谷代沢 2の6の1
(以上裁判官)

矢口 栄一 / 新宿区若宮町 39
(長官)

金谷 利広 / 武蔵野市中町
2-4-10-303
(調査官)

★ 2、3を延期せよ!!
★ 死刑判決やめよ!!
★ お前に裁く権利はねーぞ!!
等々

てくない気がする。それよりは2月3日最高裁判所に行くことを選ぶ。ーこの日に焦点をあてることを。何故なら、こういった機会を逃したら死刑・重刑攻撃反対の具体的な声をいっあげるんや。一人でも多くの人間で2月3日は最高裁を回すよう! 当日どうしても参加出来ないという人は、左記住所へ緊急のとして連続的抗議ハガキ作戦を展開して欲しい! もちろん、ぼくもやる。(ホッピー)

「読者自身の人間観で」

狼煙を見よ

を讀んで……

飯田博久（表の会）

ぬり絵をするふつに

ぼくらは日々様々な選択をして生きてゐる。その積み重ねた営為の中に日常生活とその思想が立ちあらわれる。本を讀み、感じ、思う中には人間をどう受けとめたかが示される。

この本は試金石だ。メッキの思想を持つ者は地肌が出てしまう。一群の人々が居る。革命に注進^{しやうしん}をばって聖化し、革命運動をごく一部の思想者族の、毒味をまかせる専有物にしたあげ、その修行者になりすましてしまう人々が。この人々には多分、狼々の主張も、その誤りも、自供も、反発も苦々しげな無視、あるいは自分達の「正し」の証明と思えるのではないか。

しかし、優しさが時には強けとなり、弱さともなることを知っている人には、そして、共に生き、共にあゆむことを知る人々にはまったく逆に見えるのではないだろうか。東アジア、アイヌの人々への、限らない共感と、侵略への自責に、狼々が立ちあがった時、あるいは誤爆死傷者を出してしまったことへの深い苦悩と、自供に到る切ない胸の痛みの中に、あなたはどうか思うだろうか。そして、それ

らぎにうけたらだした容にどう感じものだろうか。

臆病と自認する著者松下さんと、かつての傲慢さを自棄する大庭秀三さんとの出会いの地平が、小市民的レベルでの理解として語られる中で、かつてこれ程、革命が日常の一人一人の生活の問題であることが突き出されたことはなかったのではないだろうか。

本書の問題は、プライベートなことへの攻防と、自供について「読者の心を麻痺させる」こと、だわった攻防に端的にあ



らわれている。著者はこの攻防で一勝一敗の攻防となり、プライベートな日常生活こそその思いへの遠慮がもどかしい。切りこみ、ズタズタにすべきだった。酒を飲まずにいられない日もあったはずだ。その誠実さゆえに求めざるを得ない酒。人々に全生活を賭す闘いを呼びかけた者には、この全てが全て示針であるはずだから。

▼虹の旗田ツアー参加者は至急連絡を！（往復片道明説での宿泊する人は特に早く！）

※連絡は虹の会 → Tel. 06-647-4089 & 0722-64-0402（面が夜のめ）

本書の極だった点は、読者に、読者自身の人間観でめり絵を付けて色柄を決めるところにある。ディールの描写が少なく、最初は、プライベートなところへの遠慮からかと納得してしまっただけだけれども、著者の文筆的力量と考えると、表向きの理由とは別に、読者が没主体的な読み方から主体的な読み方をするよう、白地の余地をあえて残したと見る方が適切なようだ。著者は言う。

「それを読者がどう受けとめるかはもはや作者の与り知るところではない」(文芸春秋「狼煙を見よ」三四頁) 事実を提示し、その事実の意味づけは読者の主体性にゆだねる姿勢。だけれども、ぼくは、もっと切り刻まねば、と言いたいのだ。

矛盾するけれど、矛盾の中にしか真実はないような気がするし、矛盾を恐れていてはなにも出来ない。ぼくらは矛盾の中に住んでいるのだから。

狼煙を見よ／松浦健二著

▼河出書房新社より1100円



『月連続行動中間報告』

―走れ!・反日バス― 二月八日

▼バスは走った。2号線を西へ向って。まず、尼崎でオリエンタルメタル製造を見た。75年4月19日、海外侵略企業コンサルタント・韓産研と同時爆破されたそれは、コレート色のワラ建物のビルだった。12年前、ガラス片が散乱し、人々が群らがり、たてあろう駅前ターミナルにバスを止め、しばし眺めた。参加者の一人、Yさんは「いつも電車で通る時、何げなく見てたけど、あの日から違う風景として見るようになった」とのこと。▼東アアの爆破が、単なる象徴爆破でなかったことがこの同時爆破を見ても解る。▼それにも当時の新聞報道はエグイ。

▼明石の会場での雰囲気はこれまたよくて、いつもと顔ぶれが違っただけで、こっちは煮で雑然とした中にも新鮮な話が飛び出して、ホ・ニマうれしくなった。参加者も思った以上に多くてビックリのバスー22人、現地10人。位。

―田川建三さんのお話し― 二月二日

▼やはり口頭論を目前にしての熱気が伝わったのだらう。参加者ナント50人の大盛況。ここの重大さをひしひしと感じながら聴く田川さんのお話しもよかった。(詳細おま)

反日バス

明石への旅に参加して



奈良・Aさん

大阪駅の環状線ホームにおりた。中央郵便局前。一台のマイクロスバスが停車しており、バスのボディーに横断幕をつけているのが眺められた。胸がドキドキした。

大阪駅に着くまでの関西線の中で、友人とのやりとりを思い返していた。三菱重工業爆破による死傷者について、友人は言った。

「もし、通行人の中に、君の子供がいたとしたら、君は彼らの救援活動なんかしていないだろう」。これまでも幾度となくこの会話は途切れた。そんな重たい気持ちをひきずって来たのが、原色の横断幕をみているうちに、ほぐれてきた。

一九八三年四月二十九日に、大阪の太閤寺で開かれた「エレミア・アイアンクラウドさんを囲む」の集会に参加して以来、昨年の中之島千人集会、映画「白バラは死なず」と参加回数のない私は、きょうのバスツアーに集まってくる人たちは見知らない人ばかりだった。でも、あまり緊張していない。

アイアンクラウドさんの集いでも感じたことだが、すぐくつろぶところがある。労働組合を含めて既成の集いに多い、上座下座式の進行とは異なり、何か新しい発見がひまなような期待を生んでいくところがある。

バスは、午前十一時半ごろ、2号線を明石へ向けて出発。尼崎市内を通る中に、「大地の牙」が爆破した「オリエンタル・メタル」の作業場が倉庫らしい建物を見つけてアレッ？ 阪神尼崎駅前の松

本ビルに、爆破現場の事務所も見つけ、ホッケーさんの説明にも力がこもる。

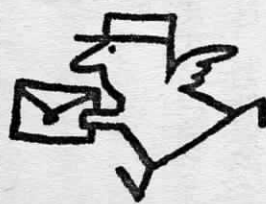
そんな楽しい発見をあわせて、きょうの反日バスツアーの明るさは、運動に参加している人たちが、一人ひとり、等身大に運動しているからだろうと思う。背伸びせず、無理やり納得せず、消化不良を起す運動にはない自然さが、明るさを生んでいるんだろう。

バスに乗ってから、私はい、さいきをつかれないことにした。隣に座った男性と、無理に話そうとしなかった。戸田さんや吉光さんの東海での面会の報告を聞きながら、街並みや通りを歩く人たちが海を見ていると、大道寺さんや荒井さん、益永さん、黒川さんたちが身近に思えてきたりした。

京都から来たKさんが、大道寺さんと「喫茶店と一緒に」——でも飲みながら話したい——と話されたことがあると、後ほど聞くが、何となくわらかい心を持って、人だろーと思えた。

そんなわらかい心に包まれて、反日バスは明石まで走り、市民会館で合流した新しいメンバーとの会話は驚きでもあった。特に、神崎町のYさんが、「私には見えないものがある」と、大道寺さんらのことを考える集まりを地元住民に呼びかけておられることに大きくうなずけた。反日バスは、関西各地に散らばっているKさんのような人、Yさんのような力を防いでくれたようだ。

私は友人に云あつ、「自分の手の汚れを他人のタオルで拭きとることはだけはよそう。私の立っている場所が、どんなところか見つめよう」と。



走れ反田 おろが良かった

いつも半徹夜になる小さな集りが、前夜にあつて、この反田バスには、まあ乗ってる間ねてたらええと、ひそかによからぬ算段してました。

少々予定遅くれて、大阪中野を出発。22人乗りバスは満席。あゆみちゃんとホッピーがにわかバスガイド。なんで行き先が明石になったのか、ガイドさんいにくアナーキストのズボラこと和田文太郎のファンが虹の会に何人かいてはって、そのゆかりの地が明石様するに企画者の好み(?)で決めただけのこと。それが気に入って、もちろんぼくもズボラのファンでもあるので、松下竜二さんの『父さん伝』のつけうりなどをぼんのちっとしやべらせてもらったり、すべりだしは妙調。最低一人は確実といわれた明石現地の交流会参加者が、なんと子供もふくめて10人位来てはって、この日の行動をとっても豊かなものにしてくれた。

ぼくにあって、おどろきだったのは、9・14の中の島で「草の根通信の読者ですが」と未知のぼくに声をかけてくれた男の人、

ぼくはウカツにもコロッと忘れてしもてた。ほんとその人が来てはって、むこうはわかつてるのにオレは知らん顔。逆に「草の根の読者ですか?」なんて、あほなこと聞いて「奥はあの日」と言われて、やっと思い出していらしく、そのYさん、姫路から50キロばかり山にはいったところで工務店をやりながら、封建制の強いところで地道に活動してはるのを聞いて、人のさそいに乗るばかりで、自分からはなにもやらん、オレがすすすはすはすかしくなる、でもお会いできてほんとによかった。

「運動」が「出会い」とするなら、この日は十分にその目的を果たしたと言っている。こんなに楽しんでてええんかいなという、うしろめたさをすみっこでちょっぴり感じつつ、

以下、当日述べた感想を箇条書きに
● 今日の企画の最大のヒットはバスという器。

● 机を囲んでムツカシイ顔してというしんどさが無い。

● その一つは、みんなが同じ方向を向いて顔を見合わせる事がない(笑いアリ)人見知りの強いものにはとても助かった
● 景色が変わるので気分も変わる(それは、一

番前で一人座ってるおまゝの特権やというマジアリ)

● ただ、座ってるだけでウインドウしてる気分になる(笑いアリ)バスのまわりには多目に向けての様々な大書きされた横断幕が、ガムテープではりめぐらされてる。最後にこのガムテープをきれいにのがすのにみんなで大変やったが、それを読む通行人の表情を見てるだけでもおもしろい。

● さらに、私的なこととして、長い間書けなかった大道寺さんへの手紙がこの2、3日前にやっと出せたことで気分が楽になって、リラックスできたこと。

● というようなことで、とてもいい一日でした。みなさんどうもさま、ありがとう。そして酔い止めのハリをつつてくれたO.Oさんありがとう。

以上、ゆるいところが疲れも感じない一日でありました。

(つま)

三原にて怪広告??!

▶ 昨年12月20日未明、広島県三原市駅頭のビロにある電光掲示板“流れる広告”で、“知ってますか? 東アジア反日武装戦線…”というものが出たと情報が入りました。▶ ただ、これを見つけた人は東ア~のことよく知らなくて(アッという間の一瞬のできごとやったことあるか)その内容はく悪口~のようにも取れたとか。一体誰が…?

というところで、あの今とていえず、そのころのことというものが各地でわりと反響を呼んでるとかで、ハガキ通信に駅前広告エドワード。やれることとはまだまだあるし、羨望人、つと目にする人、恥がりは確実にあると思ひます。あなたも権利を照射すべく宣伝戦を争の一手を!! として↓

▼ 18日の流れ反日バスで、明石の会場へ参加して下さった、姫路市に住む藤さんは、「日刊狼煙ハガキ通信」で2月3日のことを情報してはる。▼ これは自分の知人、約120人

わたしは日刊狼煙ハガキ通信で..

位に向けて、毎日發送(入)る。行いするといふもので、2月3日まで続けるミニコミ作戦。▼ ハガキ裏表ってかなり色々書けるし、それを毎日出すと、なるとかなり大変だろうけど、効果は絶対あると思う。こういう地道なところからでも、友人・知人の一人一人に声をかけていくことが、今はまず大切なんやと思います。あなたも、何かひとつー

その他、あなたにも今すぐ出来ることとして、**カンパ**を送る、というのがあります。2月3日当日、デンプー作戦など各地にいてもやれること多数。ぜひ虹の会へ、2・3へ向けて**カンパを!!!**

後記

▼ 今後は、東拘の飯田博久さんの寄稿がとてもうれしかたです。本場にあらがとつ。(担当ホー)

スタジオ・デルタに遊びに来て下さい♡
あなたも職業にいかせたくて持っているもの(AR)友だちい、ぱり誘ってスタジオ・デルタ作戦ー絵と本と映像で語る反日自由区つり、クニ一徹固の(お)に立ち寄ってみて。メインは、まりきさんの原画ギャラリーと本の販売。ぜひ! (三葉重工業爆破はデルタ作戦と称した。スタジオ・デルタ作戦は迫る判決を阻止する動きを創り出す!)

1がっ30にち 6じはん~
at 太田時 ¥30
KEKKI SHUKAI
~ 詩と歌の贈りもの ~

★出演 下前幸一、高島洋、水口公也、竹内和久、黒川芳正(代)、ホッピー 他
連続行動の最終日、目前の東京行動への出発を、熱気ある集会で食ろう!!

2がっ8か(日)1時~
つぶせ! 新空港
わくわく大集会
at 中島中央公会堂 大ホール
★ジャンジャンタイフーン、青春だいなしバンド、ぐあんてい、ゆうさ他
主催: 同集会実行委

'87反省ミニター一本 1000円(たのきあ)

▼ 激中、荒井まりきさんのイラストが月別に1枚。▼ 表、未発表作各6枚ずつ。▼ 日付下には反日への問いが各所に記してあるーという、判り易く、すてきで、情眼にも最適なカレンダーです。買ってください。